

ひるごと

探

検

号



参加者募集

見学コース

Aコース(定員80人) Bコース(定員80人)

中央公民館(出発)

石田ローズガーデン

(株)大館工芸社

公設卸売市場

温泉寺

長走風穴館

市民の森(昼食)

矢立ハイツ(昼食)

県北部総合福祉エリア

(株)秋田ブルーラム

北鹿ハリストス正教聖堂

郷土博物館

山館浄水場

中央公民館(解散)

とき・6月24日(木) 8時50分集合

対象・市内在住のかた

※参加料は無料ですが、Aコースは、昼食代500円と施設入館料200円が必要です。
Bコースは昼食持参です。

申し込み方法

往復はがきの往信用に希望のコース、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、お申し込みください。はがき1枚に2名まで記入できます。

締め切り

6月10日(当日消印有効)

※応募者が多数の場合は抽選のうえ決定し、応募者全員にお知らせします。

応募と問い合わせ

〒017-8555

大館市字中城20番地

大館市役所総務課広報広聴係

総務課 ☎49-3111 (内線258)



林業の今後

市長リポート

No.182

日本の林業は、ある意味では転換期を迎えています。安価な外国産材の流入などにより、市況が不安定になり、木材を売却して得る利益だけでは、森林を適正に管理できなくなりました。そのため、森林の大部分を管理する営林署の経営が厳しくなり、各市町村に一か所以上はあった営林署の統廃合が進み、県北では大館と能代だけになってしまいました。しかも、営林署自体も名称を森林管理署として組織替えしました。これらのことで林業を基幹産業の一つとする大館にとっても受ける影響は少なくありません。

大館の林業は小規模な経営が多く、しかも林業従事者の高齢化や後継者不足のため、施策が計画的に進まない環境になってきました。さらに、林道の整備など、林業の基盤整備や作業方法の見直しも必要です。こうした変化に対応するには、農業と同じように林業についても公社化が有効なのではないかと考えています。第三セクター方式の林業公社が行政と一体になって、樹木の保育から間伐、伐採などを行うことで、一貫性のある効率的な林業が実現するからです。また、市況が厳しいなかでは、付加価値の高い木材を作らなければなりません。木材の乾燥システムを充実させ、良質な木材の生産、出荷体制を整えていくことも急務です。

環境問題に関連して、二酸化炭素の削減がこれからの課題となっていますが、二酸化炭素を吸収してくれる森林の整備はこの問題を解決する力となることでしょう。現在、大量に伐採されている外国産材は、環境破壊を引き起こしているという世論の批判もあり、今後、国産材の時代がやってくるものと信じています。下刈りや間伐など、手入れを怠ると、森林はすぐに荒れてしまい、これを元に戻すには膨大な手間と時間がかかってしまいます。私たちの自然を守り、産業を守るという意味でも、森林組合や関係団体と話し合いながら林業公社と木材乾燥の体制作りを進めていきたいと思っています。

小畑 元